

第1回 千代田区自転車活用推進計画策定協議会

議事要旨

日時	令和6年9月12日（木）10時00分～12時00分
会場	千代田区役所 4階 401会議室
出席委員	23名

議事要旨

- 開会
- 会長・副会長の選出（会長は小早川委員、副会長は鈴木委員に決定）
- 議事（議題1から議題5）
- 意見交換

資料説明（事務局より）

議題1 計画策定の背景について 議題2 自転車に関する区の現状と課題について
議題3 計画の方向性について 議題4 アンケート調査について
議題5 計画策定スケジュールについて

意見概要

○自転車に関する区の現状と課題について（資料2）

- 自転車通行帯の上に自動車が停車して、自転車は進行を妨げられ、迂回しなければならないことがある。文京区では、自転車通行帯の外（進行方向右側）に自動車の駐停車用スペースを示すマークがあり、自転車の走行を妨げない箇所もある。法律等の位置づけを教えてほしい。
- 自転車ナビライン・ナビマークであれば、自動車の走行は可能だが、自転車専用通行帯上は走行不可となる。道路交通法上の自転車レーンなどの扱いや、走るルールと停めるルールの違いについて、一覧表で整理頂きたい。
- シェアサイクルは同一ポート発着の利用が多いとの説明であるが、全利用の90%以上が異なるポート発着の利用である。後日利用データを送付する。
- 計画の対象として特定小型原動機付自転車が含まれているので電動キックボードの会社を委員に入れるべきではないか。
- 駐輪場が多く整備されているが、放置自転車が多い。これは、一時利用の駐輪場を含めても駐車可能台数を上回る需要があって止められないのか、それとも料金が高いなどの理由で一時利用の駐輪場に止めたくないのか理由を把握しているか？
- 自転車組合の業務活動の中で秋葉原の駐輪場を回っているが、ほとんど空きがない状況である。そこに止められない方が路上駐輪をしているのではないか。
- 駐輪場の利用実態については、事務局で整理頂きたい。また、各駐輪場の駐輪可能台数及び料金についての一覧表もあると良い。
- 23区別の駅前放置自転車台数が整理されているが、上位に都心区が集中していることから分かるように駅密度が異なる中で同列に比較するのは正確な比較にならないと思う。駅数や駅周辺の駐輪場の駐輪可能台数等を考慮して分析すべきと考える。
- 観光施設として整理されているが、観光という位置付けが適切な施設等か確認頂きたい。また、町名由来板は、内容が充実している表示板であるが、自転車利用者の周遊と相性が良いかわから

ない。

- 区内の観光施設は、鉄道駅から徒歩でアクセスが良い施設が多く、駐輪場がある施設は少ないと思われる。
- 電動アシスト自転車と特定小型原動機付自転車は異なるものであるため、混同しないよう注意する必要がある。

○計画の方向性について(資料3)

- 個別方針(案)の方針2は、将来像(案)の案3で「賑わい」がキーワードに選ばれていることを踏まえると個別方針では観光、健康等に絞らず区内周遊の促進というような、もう少し広い意味のキーワードを採用する方がふさわしいと考える。また、上位計画のキーワード「賑わい」に囚われず「安全」、「快適」、「周遊」の視点で検討した方が良い。
- 自転車活用と賑わい創出を無理に結びつける必要はない。それよりも、「安全で快適」という部分に絞って「人と車の関係」・「車と自転車の関係」・「自転車と人の関係」を改善することを目指す方が良い。
- 「賑わい創出」については、今まで車で通過していた所に対して公共交通や自転車を利用して滞在時間を長くしてもらいたいという意味合いで使われることが多く、既に歩行者が多く滞在時間も長い千代田区では適さないと感じる。歩行者に区内を回遊してもらいたい一方で、自転車と歩行者の事故が多い。歩行者と接触しないよう自転車が車道を安全に走行することは、千代田区の観光や快適の観点で重要であると考えます。
- 個別方針では、多様なモビリティとのシームレスな移動を打ち出しているが、現在でもバス停の近くにシェアリングポートがあったりして一部実現できていると感じている。具体的に何の交通モード同士をつなげたいのか明確に整理してほしい。
- 自転車ネットワークやアンケート調査について、現状や課題を把握して計画に反映させるとのことだが、現在の利用実態と計画の目標としてどのような利用をしてほしいかは異なる可能性がある。その事象が何故発生しているかを踏まえ計画を立てて頂きたい。
- ここ1年ほど複数台で走行する自転車ツアーの団体を区内で見かけることが増えた。自転車走行空間の整備という観点では、今後見過ごせない存在と感じた。
- 交通管理者として自転車と自動車と接触する可能性が高いナビマーク・ナビラインよりも自転車専用通行帯の整備を進めたいと考えている。長期的なスパンで構わないので、千代田区の自転車専用通行帯の整備計画を提示頂きたい。

○区民・来訪者・事業者へのアンケート調査の実施について(資料4)

- 自転車利用という観点では、区外在住で区内在勤の方が圧倒的に多いと思われるが、事業者向けアンケート調査での取得サンプル数が少ないと感じたので再検討頂きたい。
- おそらく、自転車で千代田区に来訪する方が駐輪の多数を占めると考える。そのため、アンケートの対象は、観光客に絞らず、区外から自転車で訪れている方を対象に、来訪目的や自転車で来た理由等を問うアンケートになると良い。割合を考慮すると区民よりも区への来訪者のサンプル数が充実していると良い。
- アンケート対象に区民(在住・在学者)と書いてあるが、在住の方で区内の学校に通っているという意味か？なぜ、在学だけ左に記載していて在勤は右に記載しているのか？また、ここに書いてある区民は、お住まいの方、即ち、夜間区民のことか？
- 区在住者の通学での自転車利用は少ないのではないかと。区内の高校は、学校の許可が必要であったと思う。大学は、申請等なく自転車を利用できると思うが、鉄道が充実している千代田区では

多くないと思う。

その他(事務局より)

アンケート調査については、事前に委員に確認してから実施する。
次回の協議会は2月頃を予定。

閉会